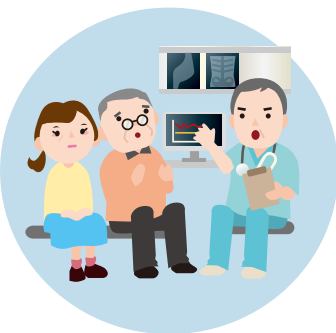




いつもの循環器外来

ハートクリニックひろの

廣野 摂 先生(循環器科)



A さん「俺の病気、心房細動(しんぼうさいどう)って言うんだべ。癌と関係あんのが?年取るとなるのが?」

Dr「ここ来て1年も経つのに何を今更…。一定リズムで収縮している心臓の動きがバラバラになる病気だよ。不整脈の一種だね。癌と直接関係はないよ。年齢とともに増える病気ではあるけどね」

A「友達は手術で完全に取れたって言ってたぞ。先生の所行ってみろって…」

Dr「カテーテルって聞いたことあるでしょ。細い管を心臓の中に進めて、不整脈の出どころを電流で凝固しちゃう方法があるよ」

A「俺は駄目なのか?」

Dr「Aさんは心臓の形がかなり変形しちゃってるから難しいよ。心臓のエコー検査して分かったんだよ。不整脈を長く放っておいたでしょ。」

A「5年以上前から健診で言われてたけど何の症状も無かったしよー。脳梗塞で死んだ父親が同じ不整脈だったって知って急におっかなくなっよー。」

Dr「心臓の中で血液が固まりやすくなるんだよ。カサブタみたいな血栓が出来て血管を流れ最終的に脳に詰まるんだよね」

A「んだんだ、父親もそれだと言ってたっけ。薬でいいからなんとかしてけろや」

Dr「だから今飲んでもらっているのは血液をサラサラにする脳梗塞の予防薬!きちんと服薬すれば血液が固まりにくくなるんだから」

A「ずっと飲まんねのが〜」

Dr「長くても24時間以内に薬の効果は切れちゃうからね」

A「面倒くさいにやー」

Dr「高血圧、糖尿病、飲酒は脳梗塞のリスクを二重、三重に上げるから、食事管理や規則正しい生活も大切だよ」

A「先生って脅かしてばっかりで金もらっていい仕事だな」

A さんの娘さん「先生はあんたのために言ってくれてんだよ!!(怒)」



不整脈について

心臓は血液を送り出すために一定のリズムで収縮と拡張を繰り返していますが、何らかの原因で心臓の拍動回数が極端に速くなったり、遅くなったり不規則になることがあります。このような状態を不整脈といいます。不整脈には様々な種類があり、緊急の治療を要するものやそのまま放置しても心配のないものもあります。どのような種類の不整脈か、またどのような治療や生活上の注意が必要かよく理解することが大切です。



ラサラにする薬を服用することがあります。大きく分けて2種類あり、抗血小板薬(パニアスピリン®など)、抗凝固薬(ワーファリン®など)があります。

血液をサラサラにする薬には注意点があります。

①出血しやすい状態になるため、鼻や歯茎からの出血、消化器からの出血などに注意してください。消化器からの出血は、黒色便や貧血などの症状が出てくるので日頃から体調確認をしましょう。

②医療機関を受診する際は血液をサラサラにする薬を服用していることを伝えてください。歯科での抜歯、内視鏡検査など出血するリスクがあり、



出血が止まりにくくなる場合があります。服用している旨を伝えて、医師の指示に従うようにしてください。

③ワーファリン®服用中は食べ物に注意が必要です。ビタミンKを多く摂取すると薬の効果が落ちてしまいます。ビタミンKが豊富に含まれている食材としては、納豆、クローラ、青汁などがあります。緑黄色野菜や海藻類にもビタミンKは含まれますが、大量に摂取しなければ大丈夫です。血液をサラサラにする薬は長期的に服用することが多くあります。以上の点に注意して、用法用量をしっかりと守って服用するようにしましょう。

かねざわ薬局

薬剤師 本間義人

かねざわ薬局

〒996-0033 山形県新庄市下金沢町5-37
TEL.0233-29-7300 FAX.0233-29-7301

今月は新庄まつりがあります!
ユネスコ無形文化遺産登録の世界に誇るお祭りです。

